

魚病診断結果

萩平 将・嶋村 一郎

平成 11 年 4 月から平成 12 年 3 月までに養殖魚および種苗生産や中間育成時に発生する病害について、水産試験場への持ち込みと養殖場の巡回調査時に採取した検体について診断した結果を表 1, 2 にまとめた。

診断結果

内水面関係の診断件数はアユ 253 件，ウナギ 9 件，アマゴ 9 件であり，総計は 271 件であった。海産魚における診断件数はブリ 13 件，ヒラメ 23 件，マダイ 3 件，その他魚類が 9 件であり，総計は 48 件であった。

アマゴではせっそう病の診断件数が最も多く，アユでは冷水病およびシュードモナス病の診断件数が多かった。冷水病は 2 月，3 月と 6 月，7 月に多く発生が見られた。

海産魚では，ブリの連鎖球菌症の診断件数が最も多かった。また，ブリでノカルジア症が 1 件確認された。イリドウイルス症はブリ，カンパチ，イシダイで診断されたが，マダイでは確認されなかった。

薬剤感受性試験結果

アユの冷水病菌 *Flavobacterium psychrophilum* は，スルフィソゾールおよびフロルフェニコールに対して全ての菌株で高い薬剤感受性を示した。しかし，この 2 剤以外ではオキシリン酸，スルファモノメトキシシン，スルファモノメトキシシンとオルメトプリムの合剤に対してほとんど感受性を示さなかった（表 3）。また，シュードモナス病菌 *Pseudomonas plecoglossicida* のすべての菌株では，検査した薬剤に対して感受性を示さなかった（表 4）。

ブリの連鎖球菌症の薬剤感受性試験結果では，OTC，EM に感受性を示さない菌株が一部みられた。また，OA はすべての菌株で感受性が低かった（表 5）。

表1 平成11年度診断結果(淡水魚)

魚種	病名	年月	1999										2000			計	
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
あまこ	せつそう病		2		3												5
	冷水病														1		1
	不明				1	1									1		3
あ	冷水病		9	10	13	8	9	3	3		7	8	15	17			102
	冷水病+シュードモナス病		2		2	1	2						2	1			10
	冷水病+キロダクテルス症					1											1
	冷水病+水カビ病			1													1
	シュードモナス病		17	5	11	2	5	1	2				2	7			52
	シュードモナス病+真菌性肉芽腫症									1							1
	エロモナス病								1			1					2
	ピブリオ病														2		2
	連鎖球菌症											4					4
	キロダクテルス症																0
	胃真菌症														1		1
ゆ	水カビ病				1												2
	不明		5	8	14	7	4	3	2		4	13	8	7			75
	不明																3
	不明																3
うなぎ	カラムナリス病		1														1
	パラコロ病											1		1			2
	シュードダクチロギルス症											2	1				3
	不明																3
合計			36	25	45	20	21	7	9	1	19	23	29	36			271

表2 平成11年度診断結果(海産魚)

魚種	病名	年月	1999										2000			計	
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
ぶり	連鎖球菌症(α)								2	1	1		1	1			6
	類結節症				1												1
	ノカルジア症										1						1
	イリドウイルス症						1	1									2
	イリトウイルス症+類結節症					1											1
ひらめ	黄疸									1							1
	不明														1		1
	連鎖球菌症				1						1						2
	エドワジェラ症					2											2
	ピブリオ病						1										0
	スクーチカ症(β)						1										1
かんばち	エドワジェラ症+スクーチカ症					1											1
	連鎖球菌症+スクーチカ症										5						5
	不明		4	1		1						1			5		12
まだい	イリトウイルス症							1									1
	不明				1												1
とらふぐ	不明			1						1	1						3
	ヘテロボツリウム症						1	1		1							3
しまあじ	不明									1							1
	トリコジナ症							1									1
いしだい	イリトウイルス症										1						1
ぶりひら	ベネデニア症					1											1
合計			4	2	2	8	5	4	5	9	1	1	1	1	6		48

表3 アユから分離した *Flavobacterium psychrophilum* の薬剤感受性試験結果

感受性程度	薬剤名				
	SMMX	SIZ	OA	FF	SO
-	11				11
+			9		
++			2		
+++		11		11	

表4 アユから分離した *Pseudomonas plecoglossicida* の薬剤感受性試験結果

感受性程度	薬剤名				
	SMMX	SIZ	OA	FF	SO
-	3	3	3	3	3
+					
++					
+++					

表5 プリから分離した 溶血性連鎖球菌の薬剤感受性試験結果

感受性程度	薬剤名				
	OTC	EM	ABPC	FF	OA
-	1	1			3
+					
++	1	1	1	2	
+++	1	1	2	1	